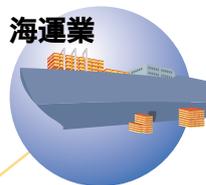


導入事例ご紹介

海運業



AIS
ACCOUNTING INFORMATION SYSTEM
株式会社エイ・アイ・エス



情報サービス業

Docodemo シリーズ

ASP (Application Service Provider)

業種特化(海運業・酒造業・食品2次加工業 他)



アパレル業



食品業

製造業



ビル管理業



倉庫業



建設業

泉食品

豆腐工場の出退勤管理に活用 携帯電話からリアルタイムで配置を指示

モバイルを使った業務改善はグループウェアの利用だけではなく、生産管理でも効果的だ。

豆腐および油揚げの製造販売を行っている泉食品（東京都中野区、青山隆社長）は、iモードに対応した勤務管理システムの試験導入を10月から開始し、11月には本格導入を予定している。泉食品は前身にあたる会社が1928年に創業され、関東、

中部、関西に販売網を持つ業界大手。従業員100人を抱え、山梨工場と東京工場の2つを持つ。長年培ってきた製造ノウハウと、有機栽培された大豆を使用するなどの取り組みが高く評価されている。しかし、豆腐市場も他社との競争が激しく、生産管理の見直しが必要になっていた。

豆腐はパンやケーキなどの生菓子と同様、その日に作ってその日に売る「日配品」と呼ばれており、基本的に注文を受けてから生産されている。日配品は保存がきかないため、製造する企業には生産量の調節や効率良い労働力の配置を行なうために出退勤の状況をリアルタイムに把握する業務改善が特に求められている

のだ。

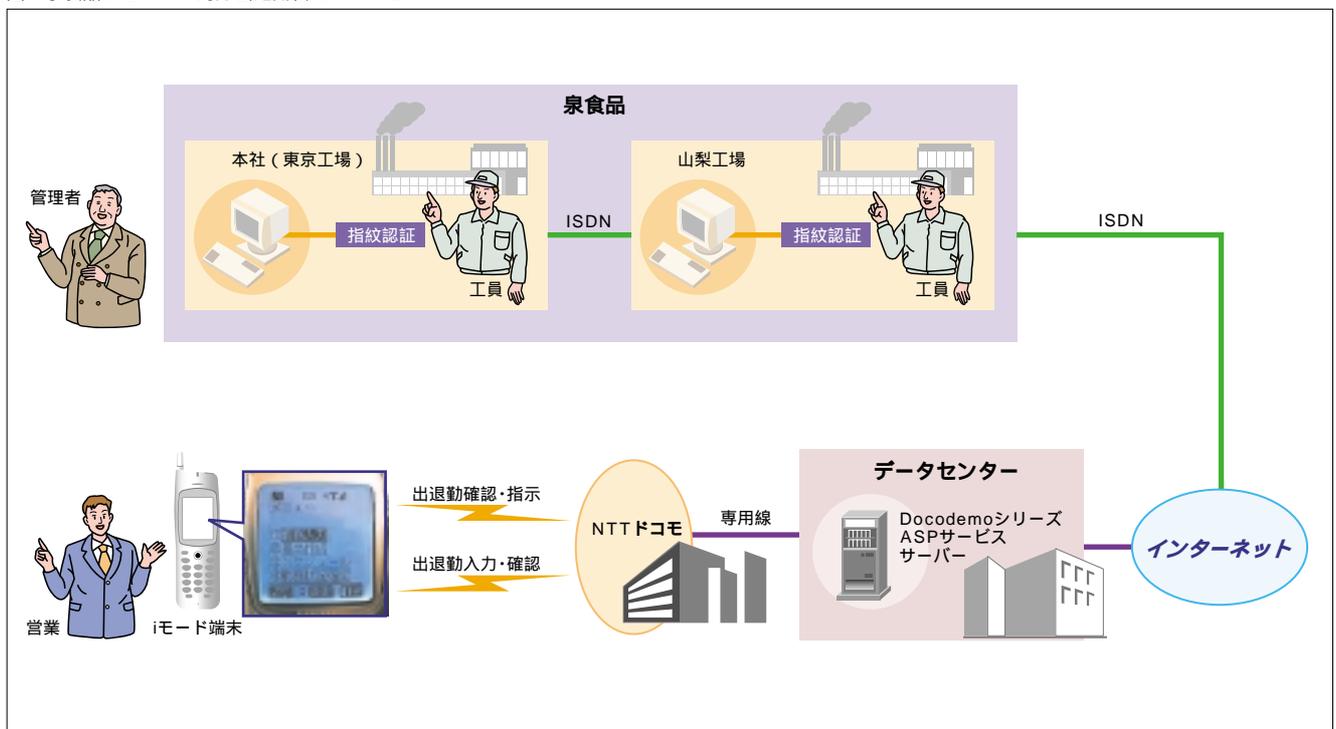
泉食品が目指したのは、生産にあたる工員と営業部員の出退勤状況を自動的にデータ集計すること。もう1つは集計されたデータを携帯電話から常に確認できるようにすることだ。泉食品の青山和成取締役総務部長は「豆腐製造のようにラインで動く製造体制は、ラインに一つでも穴があいたら取り返しがつかなくなる。出退勤状況を自動集計し、なおかつ携帯電話でリアルタイムに状況を把握できる機能が必要だった」という。

そこで導入したシステムはAIS（東京都文京区、大浦博代表取締役）が提供している会計・人事を基本と



◀ 泉食品 青山和成
取締役総務部長

図 泉食品のモバイル対応出退勤管理システム



する統合業務パッケージ「Docodemoシリーズ」のWeb対応版。導入は1年前に決定し、開発は今年に入ってから進められた。泉食品のサーバーは郵船情報開発 東京都港区、高橋 正夫社長がハウジングで運営しているデータセンターに移し、ASP形態で利用することになった。本社と工場にはデータの入力、確認を行うための端末のみ設置されており、データセンターと工場、本社間はインターネットで接続される。出退勤のデータはデータセンターにある泉食品のサーバーにインターネットを通じて集められ、それを見るにはNTTドコモの携帯電話からiモードを使ってデータセンターにアクセスする仕組みだ。

狙いは社員の本来業務 負担軽減で業務に集中

泉食品が導入したモバイルシステムの特徴は3点。第1点目は東京と山梨にある工場に指紋認証を使った出退勤管理システムを導入したこと。工員の指紋はデータとしてすでに登録されており、指紋を認証することで工場への出入りを行っている。以前は工場ごとにタイムカードに記録された出退勤状況を集計し直すという作業が行われていた。また、工場の稼働時間は実質24時間なので、朝から勤務する工員もいれば夜中に出勤する工員もいて、一般企業の勤務形態とは大きく異なっており、出退勤の集計作業は困難を極めていた。

指紋認証システムの導入によって

出退勤が自動的にデータ集計され管理者側と工員の負担を軽減することに成功した。2つの工場の出退勤管理が統一化され、管理体制を整えることができた点も大きい。

第2点目は管理者が集計されたデータを携帯電話から常に確認できるようにしたこと。既存システムの改善を行いつつ、モバイル対応も進めるといった流れだ。管理者は、工員のシフトを携帯電話の画面上に表示されるメニューから確認作業を行うことができ、ラインに抜けがある時はすぐにシフトが空いている工員に対して指示を出すことができる。また、工員にとっては管理者が効率のよい配置を指示し作業を平準化できるようになったことで、作業負担の集中が減少したという。

第3点目は、外回りの営業部員は携帯電話から出退勤を入力できることだ。営業部員はiモードから出勤、退勤、外出、戻り時間の入力を行うことが可能で、残業、休暇、欠勤、遅刻の申請を行うこともできる。申請書の上司による承認作業はそのままモバイルで行うことが可能だ。営業用のモバイルシステムについて青山氏は「決して景気がよいとはいえない豆腐業界で、泉食品が掲げた目標は本来業務。生産者は生産作業に、営業部員は営業活動に集中できるようにするために導入しました」と述べている。出退勤入力機能の他にも予定シフト、出退勤時間の実績を1週間単位で確認することができたり、所属部署単位で部員の予定シフト、実績出退勤時間の確認ができるなど、同じ出退勤管理でもそれぞ

れの業務スタイルにあったシステムを導入している。

本格的な生産管理を視野に システム改善を続ける

泉食品はモバイルをシステムに取り入れることによって生産と営業両面から業務改善に踏み切った。また、ASP形式でシステム導入をしたため、導入コストを大幅に削減することに成功しており、システム管理能力を持った特定のメンバーを必要とせず、目標とする本業回帰に集中することができるようになった。

今後の課題として挙げられるのは指紋認証のパフォーマンス向上。現在は認証まで約5秒程かかってしまうため、工員が集中した場合に待ち行列ができてしまう可能性がある。営業用システムでは、システムのバージョンアップを図りつつ、機能の追加も考えている。また、インターネットへのアクセス回線としてISDNからADSLへの変更も視野に入れている。

「大手食品業者が豆腐製造会社を作るケースなど他業界からの参入が増えており、競争はますます激化していくでしょう。競争に勝つために、これからも既存のシステムを見直したり新しいシステムの導入を続けていくことが必要です」と青山氏。例えば60kgの大豆で何丁の豆腐が生産できて、コストはどれくらいなのかをリアルタイムに把握できるように、本格的な生産管理分野へのモバイルシステム導入も検討していく考えだ。

Web・XML対応 新しくなった株式会社エイ・アイ・エスの どこでもシリーズ

オープン環境でハードウェア・ソフトウェアの制約を排除します

Docodemoシリーズ（Web版）はWeb環境で稼働するオープンシステムなので現行システムからの移植性、他システムとの連動性に優れ、急激に変化する環境に素早く対応できます。

容易な拡張性

Docodemoシリーズ（Web版）はマスタ設定により御社の業務にじっくり適合可能です。多様な製品ラインナップから一番フィットしたシステムの導入が可能です。

いつでも どこでも だれでも

統合業務パッケージ Docodemoシリーズ

他システムとのシームレスな連携・優しい入力画面

CSV、XMLベースでの他システムインターフェースを基本としております。また現場が仕訳を意識する事なく入力できる専用入力画面を多数ご用意しております。

強力なサポート体制

コンサルティングから要件分析・運用・導入・保守まで、各段階の専門家が強力にサポートします。

UDMSは、一般情報・営業情報・消費者情報・ホームページ・インターネットなど、多様な情報を収集・統合し、マイニングリソースで選別・集積・分析を行い、それらの結果を経営戦略に役立てるソリューションサービスです。



株式会社エイ・アイ・エス
<http://www.a-i-s.co.jp>

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-15-13 お茶の水ウイングビル9F
TEL 03-5842-6681 FAX 03-5842-6684

神戸営業所 〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通4-1-38タツミ三宮ビル6F
TEL 078-232-1111 FAX 078-232-1611

大阪営業所 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-15-20 丸大肥後橋ビル6F
TEL 06-6459-4337 FAX 06-6459-4338

名古屋営業所 〒462-0854 愛知県名古屋市中区若葉通4-18-1 若葉ビル602号
TEL 052-982-2411 FAX 052-982-2411

